

第10回 運営推進会議 議事録

令和3年3月24日

事業所名	デイサービスセンター「よつ葉」												
開催日時	令和3年3月24日(水)												
開催場所	電話・文書での開催												
参加者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">利用者</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1名</td> <td style="width: 30%;">知見を有する者</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1名</td> </tr> <tr> <td>利用者家族</td> <td style="text-align: center;">1名</td> <td>地域包括支援センター</td> <td style="text-align: center;">1名</td> </tr> <tr> <td>地域住民の代表</td> <td style="text-align: center;">1名</td> <td>事業所職員</td> <td style="text-align: center;">1名</td> </tr> </table>	利用者	1名	知見を有する者	1名	利用者家族	1名	地域包括支援センター	1名	地域住民の代表	1名	事業所職員	1名
利用者	1名	知見を有する者	1名										
利用者家族	1名	地域包括支援センター	1名										
地域住民の代表	1名	事業所職員	1名										
議題	1.運営状況 2.ヒヤリハット報告 3.活動報告 4.感染症対策 5.質疑応答 6.運営委員からの評価 7.今後の活動												
会 議 録													

1.運営状況

○介護度の内訳

要支援1:1名/要支援2:0名

要介護1:2名/要介護2:13名/要介護3:4名/要介護4:5名/要介護5:1名

2.ヒヤリハット報告

・半年間で事故はなし、ヒヤリハットは12件

○(食事の為に外した)他の利用者様のマスクをつけようとしてしまった。

○入浴前後の着脱時に仕切りで使用しているパーテーションが倒れてしまった。

○午睡で使用している布団の間から爪楊枝が発見された。

○新規の利用者様が出入口の段差に躓いて転びそうになってしまった。

事故やヒヤリハットが発生した場合には、その都度職員間で話し合いを行い、再発防止に努めている。職員会議でも話し合いの場を設け、事故を未然に防ぐことができるよう取り組んでいる。

・入浴中に体調不良で意識消失されてしまう利用者様がいた。救急搬送や、休養の時間を設ける対応を行うと共に、温度調整や湯船に浸かる時間の再確認を行った。朝食の有無や、水分摂取量の確認など、体調不良の原因と考え得ることに対して、関係機関と連携をとりながら、対応した。

3.活動報告

○手指の機能訓練として、季節に合わせた展示物の作成

○口腔機能向上サービスの実施（昨年2月よりサービス開始。舌苔の減少、舌圧の向上が見られている。1年間、誤嚥性肺炎による入院なし）

○脱水対策（経口補水液・ゼリーの常備）

○防災訓練の実施（R3.3.9:地震から火災発生想定での訓練）

4.感染症対策

新型コロナウイルス感染症防止に対する取り組みを様々行っている。

- お迎え時の体温測定(職員も毎日2回の検温、発熱時には出勤停止)
- 送迎車にフェイスシールド・マスク・体温計の常備
- 来所時の手洗い・うがいの徹底とマスク着用の徹底
- 入浴介助中の職員のマスク・マウスシールドの徹底
- 会話に伴う飛沫感染防止の為高さ約60cmのシールドカーテンの設置
- 1時間ごとに5～10分程度の換気
- 日中に2回と利用時間終了後に室内の消毒(椅子・テーブル・手すり・平行棒・水回り他)
- 利用時間終了後に送迎車の消毒
- ドライブ・外食レクなどの自粛 (3～4月では本人やご家族の同意を得て、少人数での対応・感染対策の徹底をしながらドライブを企画している)

5.質疑応答

新型コロナで業務負担が増す中
職員のメンタルヘルス面での変化
はありますか？

昨年より、新型コロナが発生し、感染対策のための業務が増えました。自分が最初の感染者にはなりたくない、利用者様に迷惑をかけたくない、と外出を自粛するようにもなりました。ストレスを発散させる場がなくなり、仕事に行くことが負担に感じてしまうこともありました。その業務も一年経つと慣れ、これだけ対策をしても、感染をしてしまうのであれば、仕方がない、という気持ちになり、油断はできませんが、最初に比べると気持ちが軽くなっています。また、場所は限られますが、感染対策をしっかりと行いながらの旅行や外出を行っている職員もおり、気分転換をすることができているようです。まだまだ、我慢をしなければならぬことがたくさんありますが、それぞれが楽しめる形を模索しています。また、食事会という場は難しいですが、業務終了後に同じところへ集まって、交流をする機会も作っています。

新しい生活様式における地域との交流の方法についてなかなか思うような活動ができない状況であると思いますが、現時点で何か考えていることがありますか？

直接の交流は難しいと思っています。裁縫が得意だったり、好きだったりする方がたくさんいらっしゃるので、マスクケースや小物が入れられるケースなどの作成を検討しています。地域の中で、どのような形で誰に渡すのか、という課題はありますが、この状況の中で、何ができるのかを考えながら、職員みんなで相談し、挑戦していきたいと思っています。また、少し内容からは外れるかもしれませんが、今月の活動として計画していることがあります。以前は外食レクとして、外出の機会を作っていました。現在は行うことができず利用者様からの希望はありましたが、出かけることはできませんでした。ですので、今月の13日には甲府市富士見にあるラーメン屋さんをお迎えして、よつ葉で、利用者様にラーメンを召し上がっていただくことを企画しています。

6.運営委員からの評価

(利用者)今のままで特に不満や要望はない。今は歩けているし、足の裏のタコが痛い時があり、心配なことがあるが、今のままでの生活を続けていければと思う。

(利用者家族)母と姉を二人も見てもらって感謝している。母は特にわがままで大変だと思うが、いろんな所まで気を配ってもらえて、とても助かっている。何も要望はなく、これまでと同様にずっとお願いしていきたいと思う。

(地域の代表者)感染症が収まらない状態の中で、大変なこともあると思うが、色々な対策をうってよく頑張っていると感じる。何かあれば会議の中や、日々の話し合いの中でお互いに話をして決めていってほしいと思う。今後も、色々なことに対応できるよう今後も対策をしていってほしい。今いる利用者様たちが、安心して通えるようなデイにしてほしいと思う。何かあった時に、連絡をくれればできる限りのことはしたいと考えている。

(知見を有する者)手指の機能訓練として、季節に合わせた展示物の作成を行っていると言われているが、この時期に合わせて、手芸が好きな方に手作りマスクを作ってもらえるのはどうだろうか？以前は、自分でも運営推進会議を行ったことがあるが、今は来てもらって顔を合わせて行う会議とは違うので、文章だけでなく、写真でも行っていることが分かれば良いと感じた。また、地域との交流としては、小学生との触れ合いとして、リモートでの交流も良いのではないかと考えた。この時期で行っているかは不明だが、里垣小学校の3～4年生がほうとう作りを行っていることを聞いたことがある。一緒には行うことができなくても、リモートで一緒に作るなど、時間を共有できる、という交流の仕方が良いと考えた。

(地域包括支援センター)今後、ワクチン接種等が進むにつれ今よりは状況が良くなると思われます。その折には、例えば職員さんの中に認知症サポーター養成講座の講師役(キャラバンメイト)がいれば、包括との共同で地域向けの認知症サポーター養成講座等を企画しその際にも地域住民も巻き込むなどして地域貢献や地域との繋がりの場にしてみてはいかがかと思う。また、将来的にはチームオレンジを立ち上げるなどといったことも地域との繋がりには有効かと思う。チームオレンジは甲府市でも立ち上げに向けた取り組みが始まったばかりで、まだまだ手探りの状況ですが、興味があれば分かる範囲で状況提供をしますので、声をかけてほしい。職員研修に権利擁護や各種内容で協力することもできるので、声をかけてほしい。

7.今後の活動

- 地域の子どもたちに気軽に声をかけてもらえるような雰囲気の良いデイにする
- 挨拶運動を引き続き実施
- 現在ある新しい生活様式の中での交流の仕方を考えていく

次回、運営推進会議は、令和3年8月の予定